

【小児科】 ～～太っているのは食べすぎ、運動不足？～～ それだけではありません

小児科医師：富田 雄一郎

子ども達の肥満が注目されています。大人になった時に生活習慣病になってしまうことが良く取り上げられていますが、太り始めた「今」気にしなくてはいけないことがあります。

<太ってしまう病気>

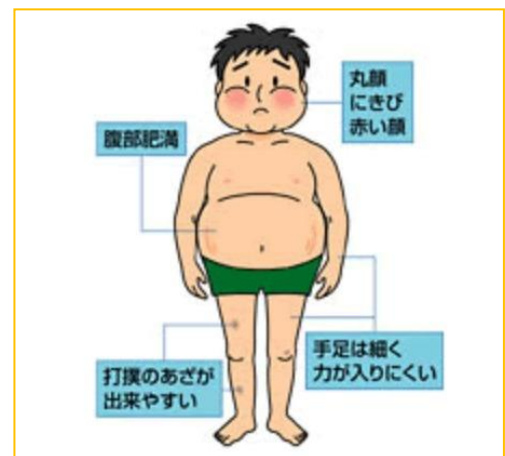
肥満は食べすぎ、運動不足、もしくはその両方があるために起こります。でも「太ってしまう病気」もあります。太ってしまう病気の代表としては

- 1) **甲状腺機能低下症** →甲状腺という代謝を活発にさせるホルモンを作る臓器が、ホルモンを作れなくなってしまう。
- 2) **副腎皮質機能亢進症**→副腎というステロイドホルモンを作っている臓器がホルモンを作りすぎてしまう。

という病気があります。

- 1) は食欲が落ちることがあるのですが、
- 2) は食欲も増えることがあり、病気なのか食べすぎなのかの区別がなかなかつきません。

これらの病気は食べる量を減らしても、運動する量を増やしても体重の増えをおさえることができません。



副腎皮質機能亢進症の患者さん模式図

<肥満で病院を受診する必要性>

肥満診療で大切なことは、「太っている原因が病気のためかどうか」「肥満なったために生活習慣病を発症していないかどうか」を調べることです。

調べる方法の一つとして血液検査があります。園や学校で体重の増え方が急なのが気になりますと園医、校医から連絡があったら病気なのかどうかだけでも調べてみてはいかがでしょうか。